

りつめい

題字・末川博名誉総長

January 2001

Ritsumeikan University Alumni Association

Rits
立命館大学

No.

203

立命館大学校友会報

Special #1 [特集 1]

進化する衣笠キャンパス

21世紀にはばたく学びの場

Special #2 [特集 2]

100年の確かな歩みを21世紀へ

立命館創始130年・学園創立100周年記念 2000年秋の取り組み

輝くひと
brilliance 36

地上での周到な準備こそ

冒険飛行成功の鍵。

いざ離陸の後は

風との融合を楽しむのみ。

松田 浩壮さん (78産社)

バルーンクラブ蜃気楼代表



表紙の人



松田 浩壮さん (78産社)

K o s o M a t s u d a

高度5300mの空気を肌で感じた稀有な人である。氷粒でできた冷たい雲を貫きたどり着いた-20℃の別世界は、強い日射のため意外にも素手で作業ができるほど暖かった。99年1月23日早朝に富山県砺波市を離陸した熱気球「2000年とやま国体号」は、立山連峰を越え、2時間41分後に栃木県小山市に着陸。262.8kmの二人乗り国内最長飛行をなしとげた。ジェット気流に乗り、最高速度は137km/h。「空と一緒に動くのだから、風から身を守る必要はない」。風を研究しつくし、天空の気を肉体に取り込んだ男は事も無げに語った。

子供の頃から空に憧れ、大風やグライダーの自作を試みていた。立命館に入学すると、学生課の反対を押し切って飛行研究会を設立、2回生の時に日本で15番目にして当時国内最大の熱気球を作り上げた。分厚い「企画書」を用意して大手繊維メーカーや軽金属会社を飛び込み訪問、球皮資材の提供やバスケット製作への協力を依頼して回った。そして学而館の一室でひたすらミシンを踏んだ。創意工夫、つくりあげる喜びに夢中になっていた若き松田さんの姿である。

研究会の後輩喜美江さん(80経営)の卒業を待って結婚、喜美江さんの郷里富山県高岡市に居を構えた。二人は絶好のフライトエリア砺波平野で初めて気球をあげ、クラブを組織し普及に努めた。今では分家も育ち、6団体が砺波の空を舞う。松田さんはバイオニアとして、より安全に確実にそして遠くへを目標に、成功飛行の詳細なデータを公開、気球ファンが皆で楽しみを分かち合い、レベルアップを図れるよう心がけている。一般市民向けのイベント参加にも積極的だ。

飛行シーズンは大地に作物のない秋から翌春にかけて。熱気球には舵がなく、ガスバーナーの点火・消火で高度を調節することしかできない。好ましい風が吹いている高度を探し、機体を預ける。立ち木やアンテナを「松田の50cm飛行」と言われる妙技ですり抜け、稲刈り後の田んぼに着陸、その所有者に挨拶すると「気球が来た日はいい事がある」と笑顔で迎えられた。彼の心は平野中に根をおろしている。

稼業は寿司屋、マスコミにも登場する「末広矢田店」の主人。「本業がブレないから気球も続けられた」と日本海の幸を握りながら笑った。

(写真・小幡 豊)

C

O N T E N T S

Special #1
特集1

1 輝くひと 松田浩壮さん

3 進化する衣笠キャンパス

21世紀にはばたく学びの場

甲賀光秀専務理事・波岡洋子さん・太田健史さん

8 RITSUMEI INTERVIEW

先人のこころの伝達者として 文化財修復に勤しむ
藤井 勇さん

10 りつめい誌上土曜講座

日本政治の行詰まりと「公共性」問題
山口 定政策科学部教授

12 われら立命人

人間臭さを大切に 町の安全と平和を守ります
竹谷 恵さん13 おめでとう銀メダル! シンク口選手6名母校へ
校友会会計報告

14 校友会ホームページ 大幅にリニューアル

15 校友会キャリアアップフォーラムを開催

16 校友会ネットワーク

18 立命館ファミリーカードコーナー

Special #2
特集2

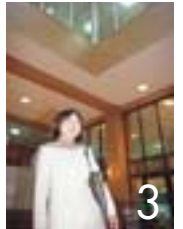
20 100年の確かな歩みを21世紀へ

立命館創始130年・学園創立100周年記念
2000年秋の取り組み

22 国際教育最前線

国際社会で活躍できる人材の養成を目指して
モンテ・カセム国際教育・研究推進機構長

24 キャンパストピックス

26 学生のスポーツ&イベント
28 INFORMATION

びわこ・くさつキャンパス（BKC）の新展開、立命館アジア太平洋大学（APU）創設と、次々に変貌・発展を遂げている立命館学園。本拠地・京都の衣笠キャンパスにもついに大きな飛躍の時が訪れました。

進化する衣笠キャンパス

二世紀にはばたく学びの場

【中央ひろばの新設】

元・中央グラウンドが、芝生と植栽に彩られた緑の広場になりました。存心館の時計台とともに、キャンパスの新しいシンボルとして親しまれています。

- 歩行者専用通路が設けられたため、人が安全・便利に移動できるようになりました。
- 野外ステージ機能を備えています。
- ベンチなどを随所に配し、また芝生内への立ち入りも自由にしました。青空のもと、存分にくつろげる空間です。
- ひろば北側には、対人援助のための人間環境デザインを研究する施設（学術フロンティア研究施設）を建設中です（2001年春竣工予定）。



ゆとりと快適性を追求し、新しい時代にふさわしい先進的な教学の実現を目指しての施設整備・カリキュラム改革の数々。



21世紀の学生たちはこんなキャンパスで学びます。あなたの思い出の衣笠とくらべてみてください。

以学館で産業社会学部が新展開

——— キャンパス南東部の整備

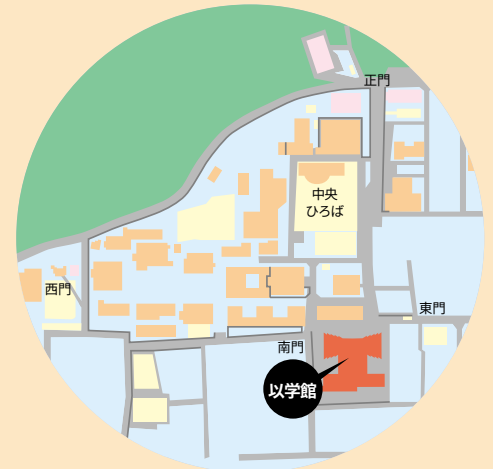


以学館外観

以学館は2000年4月から産業社会学部の基本棟として使われています。

2001年4月の「人間福祉学科」（設置認可申請中）新設に向け、健常者・身障者ともに利用しやすい施設に生まれ変わりました。見違えるほど明るく便利になった以学館をご覧ください。

以学館向かいの志学館1階には、「保健センター」「心理教育相談室」が入り、キャンパス南東部は人間の心理・行動・文化・福祉等の研究をリードするエリアとして整備されました。



産業社会学部3回生 波岡洋子さんの話



あらゆる人にやさしい設備配置

エレベーター、スロープ、自動ドア引き戸、点字タイル等が配置されています。特に大教室は通路も広く、出入りはスムーズです。私が驚いたのは車椅子の人でも無理なく使えるジュースの自動販売機が置かれたこと。細部にわたり配慮されているんですね。

明るさと快適性の追求

ガラス張り・吹き抜け部分が多く、開

放感に溢れています。人の動きがよくわかり、校舎内の活力が感じられます。

教学施設の充実

サテライト教室をはじめとする情報系・メディア系の施設、また、社会福祉の専門教育に対応した実習資料室ができました。大教室での授業は、先生方が視聴覚設備を積極的に利用なさるようになったこともあってか、面白くなりました。欲を言えば、コンピューター関連設備の充実がもっと飛躍的に進めばより良かったと思います。

学生関連施設の充実

一階のコミュニケーションラウンジ、二階アカデミックラウンジともに学生の評判はいいですね。ゼミでも基



▲ 1Fピロティ 中央奥にエレベーターが見える

◀ 1Fコミュニケーションラウンジの車椅子の人にもやさしい自販機。操作パネル、取り出し口の位置が低い。

恒心館で国際関係学部が新展開

キャンパス西側の整備

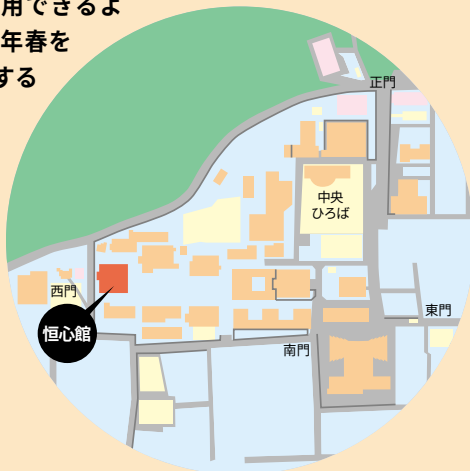


恒心館および広場

2000年9月、国際関係学部は、衣笠にある他学部との学際プログラム「国際インスティテュート」の中核学部として新展開しました。かつて理工学部の6号館であり、後に産業社会学部棟となった恒心館で再スタートを切っています。隣の明学館にも国際教育・言語教育関連施設を集め、この付近は「国際ゾーン」となります。

旧2号館・3号館はすでに撤去され、広々とした空間が広がっています。国際関係学部生・国際インスティテュート履修生・留学生等が幅広く交流できるコミュニケーションの場として利用できるよ

う、2001年春を目途に整備する予定です。



国際関係学部1回生 太田健史さんの話



「もっと学びたくなる」空間

生まれ変わった恒心館は以学館と同じく、情報・語学関係の演習室、サテライト教室などを備えています。が、僕

たちの自慢はなんといっても五階のIRラボ。ディスカッションルーム・個人用読書ブース・パソコンブースなどを備え、学習環境は抜群です。自分のパソコンを持ち込んで、ネット回線に接続して利用できるシステム（有線L

進化する衣笠キャンパス

その他の感想

「産社ゾーン」が以前より明確になりましたし、学部自治会、学生会生委

員会、エンター団などの学生団体が一箇所に集まったので、みんなで一丸となって学部を良くしていこうという意識が高まったように思います。古巣の恒心館を出て、本当は少し寂しいですが、これからは夜遅くまで明かりがともるエネルギーシユな以学館で頑張ります。

(二〇〇〇年度新歓実行委員・エンター団員)
* 低回生を、学習・生活・自治の各面でサポートする上回生の団体



▲ 2Fアカデミックラウンジで討論する学生たち。



▲ IRラボで個人のパソコンをインターネットにつなぐ



▲ IRラボディスカッションルーム内

AN) はもちろんのこと、今はまだモニター学生による利用が中心なのですが、無線LANと言って、通信カードをノートパソコンに差し込むだけで、恒心館内のどこにいてもインターネットにアクセスできるという先進的な設備が整っているんです。基礎演習・資料研究・ゼミ等の授業中に、インターネットで海外から資料を取り寄せたりすることも可能ですから、プレゼンテーションの時などにも、とても役立ちます。これには正直なところび

つくりし、感心しています。ただ、このIRラボは午後六時に閉まってしまふんです。もっと勉強したいのになんと残念という声もありますね。

KOSHUKAN 先生が身近に感じられる空間

もう一つの特徴は、客員教授を含む国際関係学部専任の先生の個人研究室が恒心館内にあることです。一階ロビーには、先生方の在室状況が一目でわかる在室掲示板があり、内線電話でアポイントをとって質問・相談ができることになっています。先生との距離が本当に近くなったと感じています。先生との面接スペース（アカデミックアドバイザー室）も個人研究室とは別に用意されています。

KOSHUKAN 「国際ゾーン」が楽しみ

二号館・三号館跡地のアメニティ整備の完成イメージについては、学生の意見をまとめて大学に提案することになっています。リラックスできる場所コミュニケーションのための場所にしたいという希望が多いです。学生の考える「国際化」を体現できるような空間にしたいものです。

KOSHUKAN その他の感想

これまでは、「国際関係学部生」としてのアイデンティティしか持ちにくかったのですが、移転後は他学部生との交流が俄然増え、改めて「立命館大学の学生」として一体感を感じています。学ぶフィールドが広がって、これ

からのキャンパスライフが楽しみです(笑)。

(学部自治会・施設担当)



▲ 教員の在室状況が一目瞭然（昼食時撮影のため留守がち）。



◀ 5Fオープンフロア

甲賀光秀専務理事に聞く

衣笠キャンパスが再整備されるに到った経緯をお聞かせ下さい。

立命館は発祥の時からずっと発展に伴ってキャンパスの新展開を繰り返してきた学園です。衣笠について言えば、一拠点化の完成をみた数年後、つまり理工学部情報工学科（当時名称、や国際関係学部が創設された一九八〇年代後半から学生数が急激に増え始め、手狭になってしまいました。そのため、最も学生数が多く、教学研究施設もふんだんに必要な理工学部がまずびわこ・くさつキャンパスに移り、その後経済・経営両学部とともにBKCで新展開を果たすことになったのです。当時はBKCばかりがクローズアップされましたが、これは、衣笠・BKC、両方の「キャンパスの有機的連携と高度化を目指しての動きだったのです。スペースのゆとりができた衣笠で教学施設の抜本的整備をはかり、キャンパスを生まれ変わらせること、これは学園創立一〇〇周年記念事業を締めくくる一大事業なのです。

どんなコンセプトのもとで計画が進められたのですか。

衣笠キャンパスは京都の地にある、当たり前ですが、これが重要で、京都において、京都の特徴をいかして達成すべき立命館教学の次代の目標は何かを考えたうえで、教学環境の整備コンセプトをキャンパスの「国際化」「情報化」「人間化」「文化化」、加えて「大学院の充実」としました。衣笠にある各学部それぞれがこれらの指針のうちいずれかの実現を中心的に担い、リーダー的役割を果たすことにより、キャンパス全体の高度

化・活性化が図られることを目指しています。おおまかには「国際化」「情報化」の牽引役は国際関係学部、「人間化」「文化化」については主に産業社会学部と文学部が担当し、「大学院拡充」は法科大学院ロースクール構想や来春の応用人間科学研究所創設に見られるという具合です。政策科学部はもとも総合性を持つユニークな学部ですので、キャンパスの新しい動きに連動し、いつそう前進していただきたいと思います。

各コンセプトの具体的な中身はどんなものですか。

「国際化」「情報化」は、学内のどの部門でも推進していることですが、特に国際関係学部では、新しくなった恒心館の先進設備を駆使して、館内のどこでもコードレスでインターネットに接続できるよう実験を進めています。これによりブリティッシュ・コロンビア大学やアメリカン大学といった提携校の学生と双方向のかつ即時的な交流をはかることを目指したり、授業の三割程度は英語で行うことを計画したりと、工夫しています。また、国際インスティテュートの主管学部として全学に貢献するという大事な役割もあります。一方の「人間化」「文化化」は、来春から文学部心理学科が哲学科から独立し、応用的・臨床的方面に力を入れたり、産業社会学部に人間福祉学科ができたりに現れています。産社の基本施設以学館は、これに伴って、誰にでも利用しやすいバリアフリー設計の明るい建物として再出発しました。「文化

化」は、在京都ということも密接に関係していますね。伝統文化や芸能を研究対象とするアトリサーセンターは私立大学の施設としてはかなり先進的だと思います。

衣笠キャンパスの施設整備はこれで一区切りついたのですか。

はい。学部基本棟の付近に、関連施設や先生方の研究室をできる限り集めるようにしたので、キャンパス内の区画整理はおおかたでできたと言ってよろしいでしょう。恒心館と、国際センター・国連寄託図書館・外国語コミュニケーションルーム等を備えた明学館、2号館・3号館跡の広場周辺は「国際ゾーン」、そして以学館と、保健センターや心理教育相談室がある志学館付近は「人間化ゾーン」とでもいえるでしょう。一部に慣れ親しんだ校舎を離れるのはしのびないという声もありましたが、これからの学生たちには広小路時代のみなさんが味わわれたのと同じ寂しさを感じさせることのないようにと、長期的展望に基づいて緑あふれるキャンパスをつくりました。これを機に、従来以上に教学の質の向上に力点を置いた改革を進めて参りたいと思います。



先人のこころの伝達者として 文化財修復に勤しむ

書画修復一筋の半世紀

装演師とはどんなお仕事ですか。

掛軸や屏風、襖、巻物などの表具をつくる職人です。装は装幀、潢は染めるという意味です。私の勤める会社がかねてより国宝・重要文化財級の絵画や書跡の修理に携わっていましたが、私もかれこれ半世紀にわたって修復作業を手がけてきました。

九八年の文化庁長官表彰に続き、二〇〇〇年春には黄綬褒章をお受けになりました。キャリアも技術も、文化財修復の世界の第一人者でいらつしやいますね。この世界に入られたきっかけは何だったのでしょうか。

中学校卒業を控えて、何か仕事を探しているとき、私が今おります会社の前身にあたる表具店から求人があったのです。絵を描くことが好きでしたので、この道ならよからうということので弟子入りしました。昭和二十七年のことです。入った表具店も、通常の仕事と並行して文化財修理という特殊なことを始めたばかりの頃でした。文化財保護法自体、昭和二十五年の制定ですから、私の職人としての歩みと、国を挙げて文化財を守ろうとする動きとはまさに重なっているわけで、不思議な巡り合わせだと感じております。

実際に文化財修理の作業に携わるようになったのはいつ頃でしょうか。

一通りの仕事ができるようになるまで一〇年と、どんな世界でもよく言いますね。私たちも同じで、掃除や道具の手入れ、糊作りや和紙を巻紙のようにつなぎ合わせるなど、ごく基本的なことを身に付けるだけで七、八年かかります。幸いなことに私は、職人の人員の都合もありまして、この時点で宝物に触れるようになりました。もちろん先輩の指示をおおきながらのことで、自分の判断で仕事を進められるようになったのはずっと後ですが。

修復作業の流れをお聞かせ下さい。

私の勤める(株)光影堂は、京都国立博物館内に二〇年前にできた「文化財保存修理所」に工房を置いておりまして、作業はそこで行います。文化庁からの指示を聞き、次に、その宝物の所有者、まあお寺さんが多いですが、そこへ出向いていつて修理設計ということになります。そして修理物件を修理所に運び、修理方法を検討するわけです。段取りをつけ、修理を始めます。具体的な作業は扱うものの種類や損傷の度合いによっていろいろですので一概には申せませんね。いろいろ予期しないことも起こってくるのですよ。学問的に興味深いアクシデント、例えば



通常は和紙で裏貼りされていて見えない絵画の裏面から、裏の紙をはがすことによって文字が書かれているのが見つかったりするところがあるのですが、そんなこともあれば文化庁に報告、調査にいらしたりもしますので。どんな事態も起こり得ますから、その都度知恵を出し合いながら対処します。

どんな書画も昔の人の思いを湛えて分厚く見える

これまでで最も印象深いお仕事は、

昭和四二年に、「普賢延命像」という尾道の持光寺

■ (株) 光影堂 装演師 [62法]

藤井 勇さん

りつめい
インタビュー

横 顔

文化財修理という、特殊かつ専門的な仕事への従事者は、彫刻等の分野を含めても老若合わせて全国に200名程度。ほとんどが京都で活動している。そのうち自ら修理設計ができるほどの経験と腕前を持つ人はほんの数名しかいない。藤井さんはまさにこの世界の第一人者であり、修理点数は国宝・重要文化財だけで120点にものぼる。

自ら「文化財の病院」と呼ぶ工房内で、中腰などの不安定な姿勢で朝から晩まで修理作業をする。千年近くも昔から伝わる宝物の「病氣」治療に失敗は許されない。細心の注意を払いつつ、いにしえの和紙や絹布を剥がし、貼り合わせ、古色を施す。常に精神的・肉体的な緊張にさらされ続ける辛さと戦いながら今日まで来た。

法学部生だった頃のことを尋ねたところ「とにかく仕事第一で生きてきましたので、広小路の夜の学生生活を語るほどの資格はありません。ただし末川先生のお話を聞きたかっただけで」といって控えめな藤井さん。「仕事第一」という言葉に力がこもる。

「生まれ変わったら、もうこんな辛い仕事には就かないぞという気持ちも、逆に、これまでのすべての仕事をやり直したいという気持ちもある」とおっしゃるが、傍から見ればまさに仕事の虫、きっと何度生まれ変わっても、宝物修理に勤しまれるに違いない。



京都・西賀茂 正伝寺蔵 重要文化財「方丈障壁画」を修理、補彩する藤井さん
(文化財保存修理所内 光影堂工房にて)
■撮影・提供 (株)光影堂

ふじい いさむ さん

1936年京都・花背生まれ。52年3月中学校卒業と同時に、表具店藤岡光影堂に入店。店が(株)光影堂へ改組した後も引き続き勤務、現在に到る。長年にわたり修理技師長を務め、現在は指導役として後進の指導にあたりつつ現役で修理に従事している。(協)京都表装協会後継会員。56年府立洛北高校卒業。62年立命館大学法学部卒業。98年文化庁長官表彰、2000年黄綬褒章を受章。

さん所蔵の仏画を修理したときのことです。いま申しましたように絵絹(画絹)の裏紙をはがしておりましたら「仁平三年(注・一一五三年)四月廿一日供養」という銘文が出てきたのです。普通、古い仏画などはそれが何年に描かれたかということはなかなか特定できないのです。この絵もそれまでは、鎌倉時代初めのものだと推測されていたのですが、これによって平安時代の作であると明らかになり、重要文化財から国宝に格上げとなりました。現代に生きる者として初めてこの文字に直面できるという幸運に恵まれたわ

けです。他に、どなたでもご存知であろうと思われる有名な作品を手がけた例としては、雪舟筆の国宝「紙本墨画 淡彩天橋立図」があります。この絵は教科書にもよく出ておりますね
どんなお気持ちで文化財修復に取り組まれているのですか。

そうですね。若い頃は、単に仕事だと思ったり、文化財の「宝」としての側面だけに目がいったりしましたが、経験を積んでまいりますうちに、一千年もの長きにわたってその作品を伝えてきた人々の心に思いを馳せることが多

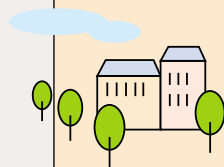
くなりました。皆が大切にしてきたものを伝える列に加わる資格が自分にはあるのか、先達の方々が私がいしていることを今ここで見ていらつしやるのだと考えると、怖いのです。六道絵などの地獄図を修理しますと、そこには大きな鏡が描かれています。その鏡には、人が生きていた時何をしてきたかが映ると聞いていますが、私もこの鏡の前に立てば何を映し出されるかと怖いのですよ。何かに追いかけられる夢を見て汗びっしょりになることもしばしばです。できるならば、過去に直したものをもう一度すべて修理し直したいくらいです。時々、文化財の内部にかつて修理をなさった方のお名前を見つけたことがあります。現代の手法に照らせば採用されないであろう修理の仕方であつても、当時としては最高のことを心を込めてしておられたのだと思うと、それを優しい目で眺めることができるのです。私の手がけた仕事も一〇〇年も経てば後輩たちによってやり直されることでしょうが、願わくば今の私の気持ちを理解してほしいと思います。

一〇〇〇年も前に書かれた作品が、藤井さんのお手によって二一世紀に伝えられていくわけですね。

この世界にも、科学技術を駆使した新しい手法が導入されるようになってまいりました。次代を担う若い職人たちがそれらを学ぶのは必要なことです。ただ、歴史の流れや伝統を踏まえたいうえで新しいものをつくりあげてほしい、これが願いです。文化財そのものを新世紀に伝えていくことはもちろんですが、そのことを通じて先人のこころを伝えたい、私はこう思っています。

日本政治の行詰まりと「公共性」問題

立命館大学政策科学部教授 山口 定



■やまぐち・やすし 一九五六年東京大学法学部卒業、五八年立命館大学法学研究科修士課程修了。立命館大学、大阪市立大学にて教鞭をとり、九三年政策科学部設置準備にともない再び本学教授として着任。専門は政治学、法学博士（大阪府立大学）。二〇〇〇年四月より本学人文科学研究所長。

一九九〇年代後半からのわが国の政治の混迷と行詰まりには憂うべきものがあります。一人ひとりの懸命の努力を政治を媒介にして事態の改善につなげる回路がなかなか見いだせず、多くの人々がいらだっています。平成大不況の、いつ果てるとも分らない長期化、その中でのリストラの拡大が生む苦悩と不安、介護と年金をめぐる老後の不安、IT革命が生む新たな貧富とチャンスの格差、家庭と学校の崩壊、青少年犯罪、政治家や官僚の汚職とその中で際限なく膨れあがる国家財政の赤字、諸外国から自立性を疑われる情けない日本外交、既成政党に愛想づかしをした若者を中心とする無党派層の増大と各種選挙での投票率の異常な低下など、われわれの身の回りには、悲しいことばかりです。

なぜこんなことになったのでしょうか。その原因はもちろんいろいろありますが、最近では、政治学、経済学、社会学、歴史学などのさまざまな領域の社会科学者たちの間で、問題解決の鍵の一つは「公共性」問題にあるのではないかと言われています。

つまり、問題の中心は、政治家たちがだらしなやか、腐敗しているとか、官僚たちがモラルを失ったとか、新しい時代の動きに鈍感だとかいったことばかりではなく、本来なら民主政治のもので民意形成の基軸となるべき人々

の「公共性」感覚がはつきりしなくなってきたことが問題なのではないかといいわけですが。民主政治の下では、人々は、自分たちの日常生活の個別的利害を政治の場で堂々と主張してよいのですが、皆がそればかりでは、問題解決の方向を明らかにすることができません。それは政治家の仕事だといふ考えもあるかもしれませんが、政治家ばかりでなく、一般市民の公共の利益に関する見識がなければ、民主政治は成り立ちません。

現在の日本での「公共性」感覚の混迷には、さまざまな特有の要因があると考えられます。その第一としては、戦前の「滅私奉公」という思想はもとより、「お上」（政府）や「お役所」（官庁や官僚）のいうことが「公共」にあたるのだという古いタイプの公共性意識が今ようやく権威をうしなってきたのに、他方では、市民の間で広く通用する新しい「公共性」感覚がまだ充分に育ってきていないという過渡期の難しい状況があります。

第二に、こうした状況のもとでは、問題点を整理して、新しい公共性基準の形成に寄与するという重要な仕事は社会科学者に期待されますが、その点で、わが国の学者の世界では、価値判断にかかわる発言を回避したり、外国

の文献の紹介だけで終わって、日本の現実と正面から向かい合おうとしないという残念な傾向がまだ色濃く残っています。

しかし現実には、われわれは、どのような仕事を、どのような根拠と条件で、かつ、どのような範囲で「公共」の手に委ねるのが適切なのかという判断を次々と突きつけられています。例えば、これまでの公営企業の民営化や公的資金の民間企業への投入の根拠づけ、公益法人や公共事業における「公益」の意味、NPOの「公益」性の認定の根拠など、具体的問題は山積しています。

こうした事例に照らしてみても、今日の「公共性」問題は、社会科学の広範な領域からの多面的な検討を必要としています。立命館大学の人文科学研究所では、二〇〇〇年三月以来、「人文・社会科学における『公共』概念の総合的研究」という研究プロジェクトを立ち上げて、衣笠キャンパスの文系諸学部にも所属するスタッフ有志による共同研究をはじめています。その成果は、いつの日かあらためて世に問われることになるでしょうが、二〇〇〇年一〇月の土曜講座特集「今、公共性を考える」は、このプロジェクトの発足とその趣旨を市民の方々にお伝えするものとして企画されました。今回、講師として登場されたのは、経済学、政治学、憲法学、歴史学の四つの分野に限られるを得ませんでした。これは、この問題が持つている広がりを考えれば、まだほんの入り口にすぎません。

私は、政治学者として登場したわけですが、私の講演の中で強調させて頂いたのは、上記のような私どもの研究

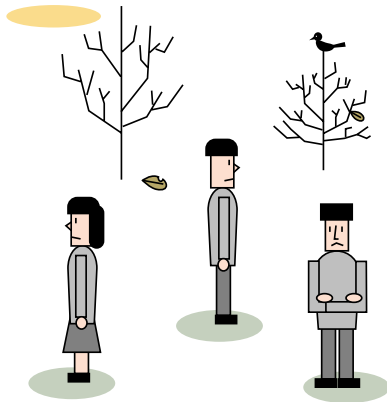


プロジェクトの紹介のほかには、次のようなことでした。

①戦後日本の政治学を代表する存在として高く評価されている丸山眞男氏は、有名な論文「個人析出のさきまのパターン」(『丸山眞男集』岩波書店 一九九六 第九巻所収)の中で、明治以来の日本の近代化の歴史においては、近代的自我の形成に四つの異なったパターン(「個性化」、「民主化」、「私化」、「原子化」)があることがわかるが、残念なことには日本では、この中の「私化」と「原子化」が「個性化」と「民主化」を圧倒するという歴史があったとしている。また、社会学者の日高六郎氏もかつて、日本では、戦前の「滅私奉公」から戦後の「滅公奉私」への逆転がみられると書いたことがある。この指摘の意味をわれわれはあ

らためて検討すべきだし、「私化」や「原子化」から「公共性」にいたる道筋を拓く意識分析の新たな展開に努力すべきではないだろうか。

②阪神大震災以降、わが国でもボランティア活動の高揚やNPO(非営利民間組織)・NGO(非政府組織)などの新しい形の市民運動の活発化がみられるようになり、それらの運動のリーダーたちの間では、「市民社会」の確立が目標であるとされる



ケースが目立つようになった。しかし、この「市民社会」という概念はわが国の社会科学の歴史の中では、ヘーゲルやマルクスの影響下に、「ブルジョア社会」や「資本主義社会」の意味で用いられ、そのため、「市民主義」を説きながら「市民社会」は拒否するという立場(積極的な意味での「市民社会」概念をもたない「市民主義者」)が多かった。しかし、これでは、「国家」と「市場原理」に対抗して「市民社会」の成熟に期待する今日の多くの人々の願いに対応できないのではないだろうか。従来、ともすれば教養主義

的、エリート主義的で具体的な政策提起能力を持たない市民社会論や、自主と自立と主体性のみを強調して、市民的連帯を支える「公智・公德」(福沢諭吉)の重要性を忘却しかねないような古いタイプの市民社会論は卒業して、「新しい市民社会」論を確立することが要請されている。

③真の「公共性」とは何か、という問題を正面から問いつめる作業は、民主主義を蘇生させ、そのバージョン・アップをはかるための正面玄関を押し開く作業ではないかと思われる。しかしそのためには、従来の日本人の社会認識の基本的な枠組であった「国家」と「私生活」という対概念を、「公共空間」と「生活空間」という対概念によって置き換えることが必要なのではないだろうか。その場合の「公共空間」とは、解決されるべき問題毎に異なり、「国家」であることもあろうが、それだけではない。地域社会であったり、「自治体」であったり、国境をまたぐ人間関係であったり、国連であったり、「地球社会」であったりする。また、「私生活」が家族や親戚によって構成される閉ざされた内輪の世界を意味していたのに対して、「生活空間」は、「私生活」と同様の親密性の世界ではあるが、地域の隣人や職場の同僚など私たちの日常生活を構成する親しい人々からなる開かれた空間である。そして、この無限に多様な「生活空間」をつないで問題毎に成立する「公共空間」が生きて生きているとき、「国家」と「市場」は暴走することはできず、逆に、私たちの真の必要に応えるものとなる確率が高くなるのではないだろうか。



人間臭さを大切に 町の安全と 平和を守ります

警察官となって七年が経過し、今まで様々な事件、事故と向き合ってきました。

そもそも私が何故警察官になったのかといえば、高校時代の親友が女性警察官になり、警察官の仕事には交番勤務や交通取締り以外に総務課、生活安全課、地域課、刑事課、交通課、警備課等の様々な専門分野があることを聞いたからです。私はそれまで警察に関わったことはなく、就職活動期には別の一般会社に内定していたものの、警察ってどんなところだろうかと未知の世界に飛び込んでみようかと思ったのです。

警察官になると、先ず警察学校に入校し、卒業後は地域課での交番勤務を経て、その後本人の希望や適材適所を考慮して、様々な専門分野に活動の場を広げていくのです。

私はかつて薬物捜査の係に配属されたことがあります。当然警察官になるまで規制薬物など見たことがなく、またそれを使用している人たちに接したことなどありませんでした。

何百人という薬物使用者の扱いの中で、私が特に印象に残っているのは、二〇代の若い女性の覚醒剤使用者です。その女性は覚醒剤の幻覚作用で、生まれて間もない

わが子を三階の自宅のベランダから投げ落とし、死亡させてしまったのです。

私は彼女の担当刑事として、最初事件のことについては全く触れず、これまでの彼女の人生の歩みについて色々と話を聞くことから始め、刑事と被疑者の関係ではなく、一人の人間と人間との会話を続けました。そのうちに少しずつですが心を開いてくれるようになり、二〇日間の勾留期間中に何とか事件を検察庁に送ることができました。

彼女が警察の留置場から拘置所に移監される最後の日「刑事さん、私は今まで辛いことや嫌なことがあると、全て薬を使ってごまかすような人生を歩んできました。これからは、完全に薬を断ち切り、強く生きていこうと思っています」と私に話してくれたのです。

しかしこの後は裁判を待つのみといえ、事件が終わったわけではなく、今後は彼女には薬物を断ち切る強い意思が必要なわけで、ただ私はその最後に言ってくれた彼女の言葉を信じる以外ありませんでした。

警察の仕事というのは、喧嘩や酔っぱらい、自殺者の扱い等、普段は見えない人間の裏の顔を見せしめることが多く、戸惑いや、い

竹谷 恵さん
大阪府警察 巡査部長
'93 経済



ら立ちを感じたことはたくさんあります。

テレビドラマのように、事件は一、二時間で解決できるものではありません。法律に従った地道な活動の積み重ねでやっと解決に向かうことができるのです。

警察官というと、真面目で、おカタい、近寄りづらい存在だと思われがちですが、利益第一主義の製品を作るのではなく、人と接していく仕事であり、人間臭さが求められるのです。

さて今の治安情勢は、犯罪の多様化、ボタダレス化、国際化といった傾向が益々顕著となっており、今まで警察が取り扱ったことのない多種多様な犯罪が増え、警察が充分対応しきれない状態となっています。

今、私のお腹には新しい命が宿っており、二一世紀に生まれる予定でいます。最近ふと一人の母親として、この子が二〇歳を迎える頃、日本はどうなっているのだろうかと考えている時があります。

でも私は警察官である以上、生まれてくる我が子が、そして国民の皆さんが安心して平和に暮らせるように、日々人間臭い警察官として邁進していく覚悟であります。

■ 校友会会計報告 1999年度決算・2000年度予算をお知らせします

【収入の部】

(単位：円)

科 目	99年度決算額	2000年度予算額
前年度繰越金	15,668,660	29,622,958
会費収入		
単年度会費	5,094,000	4,500,000
新卒者終身会費	136,520,000	204,000,000
既卒者終身会費	7,140,000	6,000,000
計	148,754,000	214,500,000
資産運用収入		
預金利息	224,682	250,000
終身会費積立金利息	2,341,255	1,400,000
計	2,565,937	1,650,000
大会収入		
参加券売上金	11,111,000	—
大会賛助金	500,000	—
大会雑収入	260,000	—
計	11,871,000	—
寄付金収入		
100周年記念募金	100,000,000	—
計	100,000,000	—
その他収入		
100周年記念募金差額収入	—	2,000,000
雑収入	685,617	200,000
白雲荘利用大学負担金	5,558,038	5,300,000
白雲荘利用料	529,135	500,000
計	6,772,790	8,000,000
合 計	285,632,387	253,772,958

【支出の部】

(単位：円)

科 目	99年度決算額	2000年度予算額
人件費支出		
給与費	14,795,200	15,000,000
社会保険料	1,444,021	1,600,000
計	16,239,221	16,600,000
一般経費支出		
会議費	2,693,347	2,500,000
事務消耗品費	2,479,525	2,300,000
委託費	4,133,410	4,500,000
通信費	30,106,616	25,000,000
振込手数料	175,165	200,000
備品費	171,066	200,000
交通費	1,203,550	1,000,000
旅費	2,529,230	2,200,000
固定資産・都市計画利用税	1,110,380	1,120,000
雑費	818,286	500,000
計	45,420,575	39,520,000
組織強化費支出		
組織強化補助金	5,591,320	5,000,000
新校友歓迎企画事業費	16,876,174	17,000,000
学生援助費	2,000,000	2,000,000
就職支援費	0	2,000,000
全国会長懇談会費	3,954,583	3,000,000
計	28,422,077	29,000,000
事業費支出		
会報発行費	10,439,148	11,000,000
大会費	14,602,228	9,000,000
大会参加補助金	—	30,000,000
施設等運営費	6,366,513	6,300,000
校友会奨学金	19,950,000	19,800,000
インターネット事業費	355,217	2,000,000
APU正門建設費	100,000,000	—
オリジナルグッズ制作費	—	3,000,000
計	151,713,106	81,100,000
特別会計繰出		
終身会費積立金繰出	7,500,000	75,000,000
会館建設基金繰出	2,000,000	2,000,000
名簿発行準備金繰出	2,000,000	2,000,000
記念大会準備金繰出	500,000	500,000
計	12,000,000	79,500,000
予備費		
予備費	2,214,450	8,052,958
翌年度繰越金	29,622,958	—
合 計	285,632,387	253,772,958

SYDNEY 2000 OLYMPIC

おめでとう 銀メダル！

シドニーオリンピック
シンクロナイズドスイミング選手6名 母校へ



シドニーオリンピックで見事銀メダルを獲得した立命館大学卒業・在学の選手6名が、一〇月一〇日（火）衣笠キャンパスを訪れ、学内関係者や在学生に銀メダル獲得を報告した。

最高の演技・満足の銀メダル

銀メダルの6名は、藤井来夏さん（97経営、米田祐子さん（98産社、武田美保さん（99産社、磯田陽子さん（産社4、米田容子さん（経営3、江上綾乃さん（経営3。満面の笑顔で輝くメダルを披露してくれた。

「一〇点があれだけ並んだのは初めて。今回はロシアの真のライバルとしていい戦いができ、満足です。銀メダルですが、心の中では本当にきれいな色のメダルです」と磯田さん。他のメンバーにも共通する思

Synchronized Swimming

いに違いない。

母校の熱烈な応援に感謝

久しぶりに訪れた衣笠キャンパスの変わりように「グラウンドがなくなっている！」と驚きつつも、顔なじみの教職員や友人たちと歓談するうち、安らげる場所に帰ってきた嬉しさを実感したという選手皆さん。「いつも声援を送ってくれる学生の皆さん、私たちの選手生活と学業の両立を支えてくださった先生方、職員の方々、先輩方、本当にありがとうございます。立命館のあたたかさ感謝します」と挨拶した。

「金メダルを取れるよう挑戦を続けます」との力強い決意表明に添えて、現役学生の三人は「勉強も一生懸命やります」との言葉を忘れなかった。

校友会ホームページ 大幅にリニューアル

Renewal

立命館大学校友会のホームページは、12月1日にリニューアルしました。

校友会員の皆様ご自身の書き込みにより生の声でリアルタイムに同窓会開催等の案内ができる掲示板や、
校友データ登録・変更フォームをはじめ、便利で楽しい機能がいっぱいです。早速アクセスを！

トップページURL

<http://www.ritsumei.ac.jp/kic/741/>

校友会新メールアドレス

alumni@st.ritsumei.ac.jp (変更になりました)

支部・グループ情報

校友会登録団体を簡単操作のブルダウメニューでお調べいただけるようになりました。都道府県校友会のほか、職場、学部・学科・ゼミの同窓会、サークルOB・OG会など、約300の団体が様々な活動をしています。海外支部も9つあります。

大学施設・証明書発行

図書館などの施設利用や卒業証明書等の申し込み手続きを記載しています。

登録内容変更について

登録フォームに入力、ご送信いただくだけで、お名前や住所・勤務先等変更のお届けが簡単にできるようになりました。ご送信内容はSSLを利用してセキュリティで保護され、安全性がアップしました。

校友会報「りつめい」

PDFファイルで最新号の記事をご覧ください（Adobe Acrobat Reader®のインストールが必要です）。ご愛読と情報提供を期待しています。

立命館大学校歌

校歌・応援歌をパソコン上で聞けるだけでなく、iモード携帯電話用の着信メロディとしてダウンロードしていただけるようになります。対応機種をお持ちの方はお試しください。



校友会からのお知らせ

校友大会のお知らせ等、校友の皆様 に役立つ情報を掲載しています。トップページには最新の情報が常に5件表示されます。もちろん過去の記事もご覧になります。

東京オフィス/大阪オフィスからののお知らせ

首都圏・大阪に在住・勤務の校友のネットワーク強化に役立つ情報を掲載します。

OB・OGからののお知らせ

各校友団体の会合のお知らせ等のための掲示板です。皆様が直接情報を書き込んで宣伝することや、手作りのホームページリンクをはることができます。掲示板へ書き込む際には簡単なタグが使用可能で、文字を飾ることもできます。

在校生からののお知らせ

学生からの情報を伝える掲示板です。

立命館大学校友会 キャリアアップフォーラムを開催



11月18日（土）、学園祭さなかの衣笠キャンパスにおいて、「立命館大学校友会キャリアアップフォーラム」が開催された。校友会が立命館大学キャリアセンター・学園祭事務局の協力を得て若手校友や在学生向けに行った企画である。初の試みながら、豊かな経験に基づいた持論を語る先輩校友の話に若者たちが熱心に聞き入って、有意義で和やかな交流の場となった。

本フォーラムは、次代の担い手である若手校友および現役学生に校友会に対する認識を深めてもらうべく企画・実現した。校友会新世紀構想委員会のメンバーが中心となり、若手のニーズに対して校友会は何かで

きるのかをアンケート調査等を経て検討した結果、「キャリアアップ」を広い意味で捉え、キーワードに据えることとなったものである。会場の以学館1号ホールは、160名ほどのキャリア・アドバイザー*と600名を超える学生などで満員となった。＊卒業後数年の若手校友で、在学生の就職活動を援助してくれるよう大学から委嘱を受けた人たち

第1部 シンクロナイズドスイミング日本代表選手へのインタビュー

スポーツ界でキャリアアップを果たした、シドニーオリンピック銀メダリストの米田祐子さん（'98産社）・磯田陽子さん（産社4）が登壇、「目標とするレベルを徐々に上げ、確実にクリアしていくことで実力がつく」「くじけそうになったら原点に戻り、私はどう生きていきたいのかを考える。すると目標を捨てるのが間違いであるとわかり自分を励ませる」とミニインタビュー形式でこれまでの体験や努力の模様を語った。



（左）米田祐子さん（右）磯田陽子さん

第2部 パネルディスカッション

パネラー兼コーディネーターにNHKアナウンス室チーフ・アナウンサーの川端義明さん（'75法）、残る2人のパネラーとして作家朴慶南さん（'72文）、（株）オートボックスセブン代表取締役社長住野公一さん（'70経済）を迎えた。川端さんが「常識に流されず、自分の現状はこれでいいのかと常に自らに問いかけながら仕事をしてきた」「若い人には、人の胸を打てるほどの強い職業観をもってほしい」と話の先鞭をつけると、朴さんが「できません、と言ってしまってはそれまで。主体性を持ち自分を輝かせて生きていけば、出会いが広がり、いい仕事がついてくる」、住野さんは職場組織をオーケストラに例え「一人一人が責任を持って音を出せ、ソリストたれ」とそれぞれ力強いエールを送った。

続いて、キャリア・アドバイザーを代表して、中郷浩史さん（'94経済）、岡田有紀子さん（'99政策）、田邊 裕さん（'99経営）の3名が登壇、先輩パネラーとの掛け合いの中で仕事に対する夢やそれに向けての決意を語った。

「キャリア」について多方面から触れた含蓄の深いパネルディスカッションに対し、観衆から大きな拍手が送られて閉会となった。



川端義明さん

朴 慶南さん



住野公一さん

中郷浩史さん



岡田有紀子さん

田邊 裕さん

キャリア・アドバイザー交流会

フォーラム終了後、以学館地下食堂にて交流会が開かれた。川端さんによる乾杯の発声の後には、いくつもの名刺交換と歓談の輪ができていた。



交流会的一幕

ishikawa

石川県校友会

石川県校友会の総会は一〇月二二日（土）、金沢市の金沢ニューグランドホテルで校友一三〇名が参加して開かれた。今年度は浅野弘明前会長、中川和人前副幹事長と相次いで会の幹部を亡くし、全員で黙祷を捧げたあと大井一星会長が「浅野前会長の情熱が今日の石川県校友会の基盤を作った。その遺志を継いで力を合わせてより会を発展させていきたい」と挨拶、任期切れの役員改選で副会長の加納裕氏（78産社）を新会長に選んだ。新役員は若手を中心に女性幹事も選出、新たに事務局長のポストも新設した。



〔51法 児玉弘毅・記〕

saitama

埼玉県校友会

埼玉県校友会は会員数二二〇名余で四プロックに分けて活動している。二〇〇〇年の大きな行事としては、五月に立命館創始二二〇年・学園創立一〇〇周年記念・APU開学式典・全国校友大会に参加。五月一九日から宮崎・大分・熊本と二泊三日のツアーを組み、全行程好天に恵まれ松田会長以下一五名が参加した。そして第一回総会を、去る九月三日（土）与野市のホテル・アルサ清水園にて開催。来賓として井上純一立命館常務理事、安田祐造校友会常任幹事会副議長、志垣陽校友課長、関東近県校友会の役員の方々の御出席をいただき、埼玉県校友は一九五三年卒から二〇〇〇年卒までの四三名が参加した。第一部総会のと第二部懇親会に移り、志垣課長の乾杯から和気あいあいのムードで進み、アトラクションの銀座並木通り合唱団のコーラス、恒例のビンゴゲーム、校歌・応援歌斉唱の後、無事閉会となった。尚、定例行事としては新年会・歴史探訪・旅行・ゴルフコンペ等を行なっていますので皆様の参加を期待しています。〔53経済 中上昌彦・記〕



hakodate

函館同窓会

九月三〇日（土）、函館同窓会は、同志社・京大・京都産大・京女・京都外大の各在函館同窓会と共同で「オール京都同窓会」を開催した。単独ではせいぜい二〇名程度しか集まらない立命館と同志社の同窓会メンバーが飲み屋でバツタリ出合い、「函館で立同戦やろう！」と意気投合したのがそもそのきっかけで、これが「オール京都」に発展した。



今年の当番校である我々は、立命館学園一〇〇周年にふさわしいビッグな校友、NHKキャスターの川端義明氏（75法）を招き、記念講演会を開催した。函館駅前の「北洋ビル」八階ホールは、新聞広告により集まった市民も含めて

満員の盛況であった。演題は「TV報道の舞台裏」。さすがはNHKの顔、歯切れの良い語り口だ。「夜のキャスターも朝から忙しい」「ニュースは二四時間いつでも入ってくるので予定原稿が全部変わることもある」に始まり、選挙速報の話、視聴者からの様々な反応にまで話は及び、あっという間に一時間半が過ぎた。その後は「川端アナを囲む会」なる宴会。各校エールを交換し八〇余名が大いに盛り上がった。立命館百年のビデオ放映や慶祥中・高の高杉校長のお話も交えて我が学園の宣伝もバツチリ行い、大成功であった。

〔53経済 清水源太郎・記〕

faculty of law

法学部同窓会設立総会



去る九月三日（祝）に、存心館七〇一号教室において、立命館大学法学部同窓会の設立総会が開催された。

法学部創立一〇〇周年を契機として同窓会をつくるうとの機運が高まり、九九年三月の設立準備委員会の設置から約一年半の間、各ゼミ・サークルから選出された委員を中心に準備をすすめ、二〇〇〇年三月に開催された発起人会の議論を経て、今回の設立総会を開催することができた。

総会では、多数の同窓生の参加を得て、講事にしたがって、学校法人立命館川本八郎理事長の挨拶、同窓会設立の経過報告、同窓会規約・役員人事、活動方針・予算案が、活発な議論の後すべて承認され、同窓会の設立が承認された。

なお、今回の総会は、二〇〇一年六月二日（土）に開催することも報告された。

また、初代同窓会会長に就任された羽賀孝氏（51法）をはじめとする役員の方々の挨拶では、今後の同窓会活動に対する抱負が表明された。

総会終了後、同窓生は、ホームカミングデーの各企画に参加したり、全体の懇親会場や当日に設定された各ゼミの同窓会で旧交を温めあった。

「法学部同窓会事務局・記」

a i c h i

愛知県校友会



二〇〇〇年愛知県校友会のイヤーズミーティング総会・懇親会が、一月二日（土）名古屋平安閣において開催されました。当日は大学から常務理事の久岡康成様をはじめ、校友会本部副会長の格茂様、校友課長の志垣陽様など二〇〇名近い来賓をお迎えし、総勢約三八〇名の校友が集う盛大な会となりました。

厳肅に行われた第一部の総会に続く懇親会は、ここ平安閣ではもはや恒例となった「全館開放」で十分な盛り上がりを見せました。館内のあちこちで愛嬌を振りまいてくれた舞妓さん、楽しい音楽ライブ、琴の演奏を背景にお茶席、似顔絵をして占い、定番のカラオケ等、館内はどこへいても楽しい笑い声と、懐かしい話に満ち満ちていました。

特筆すべきは平成一二年、一二年の卒業生約四〇名の出席が得られたこと。そして平成二年度の会員名簿が完成、この日校友に配られたこと。フレッシュな一二年、一二年の卒業生からは、事務局への協力申し出が飛び出すなど、今後の愛知県校友会にとって実り多き会となりました。最後に、開催にあたって多大なるご助力をいただきました名古屋平安閣スタッフの皆様にお礼申し上げます。

「愛知県校友会事務局・記」

faculty of science and engineering

理工学部同窓会連絡協議会



現在、理工学部卒業生の同窓会組織として、各学系単位の「数物会」「応化会」「立命電友会」「機友会」「情報会」がありますが、これらが連携し、理工学部全体として統一的に活動する組織はありませんでした。

一九九九年一月に「理工学部創立六〇周年記念校友大会」が開催されたのを機に、理工学部各同窓会組織の連合・協議体としての「立命館大学理工学部同窓会連絡協議会（仮称）」の設立を提案し、承認されました。この承認を受けて、各同窓会の代表者で構成される「理工学部同窓会連絡協議会設立準備会」を結成し、運営形態、活動内容などについて協議を行ってまいりました。その結果、二〇〇〇年五月に「理工学部同窓会連絡協議会」の創設が合意され、①同窓生の親睦交流のための事業、②各学系の同窓会活動を支援する事業、③理工学部の発展に寄与する事業等を行うことを柱とした規約・内規も作成されました。さらに各同窓会から選出された委員で構成される「役員会」も組織され、活動が開始されました。

各同窓会を通して理工学部卒業生に「理工学部同窓会連絡協議会」の創設を告知する手続きを進めるとともに、一月一九日（日）に最初の事業として「創設記念講演会」をホテルグランヴィア京都で開催しました。（株）日本総合研究所調査部長 高橋進氏を講師としてお迎えし、「IT革命の進展と日本経済の行方」と題した講演をいただきました。各同窓会の役員を中心に約一五〇名の卒業生が参加し、懇親会も開催され交流を深めました。

「63理工 松田十四夫・記」

Family Card

広告欄

※立命館ファミリーカード会員の方は、割引の特典がございます。

国産天然羊革使用 ゴルフグローブ

素材の厳選からこだわった天然の子羊の革（ベビーラム）をご用意いたしました。薄くて、やわらかく手になじみやすい風合いは、スコアメイクに何よりのアシストをお約束いたします。



NEW

新たに
RITS
マーク
登場！

- 素 材 : 天然羊革 (ベビーラム)
- サイズ : 19 cm ~ 27 cm
- カラー : 白、黒 右打ち用 (片手)

立命館ファミリーカード会員価格

¥2,000 (税別)

一般価格

¥2,300 (税別)

オリジナルTシャツ・トレーナー

胸元と背中に **APU** ロゴをシンプルにあしらったTシャツ。夏はアウターに、冬はインナーにと季節を問わず、長くご愛用していただけます。同タイプのトレーナーは **RITS** と **APU** の2種類をご用意いたしました。



NEW

トレーナーのみ
RITS
マーク登場！

Tシャツ/写真左 Tシャツ/写真右

<Tシャツ>

- サイズ : M、L
- 素 材 : 綿100%
- カラー : 白

<トレーナー>

- サイズ : M、L
- 素 材 : 綿100%
- カラー : アッシュグレー

立命館ファミリーカード会員価格

Tシャツ ¥1,500 (税別)
トレーナー ¥3,000 (税別)

一般価格

Tシャツ ¥1,800 (税別)
トレーナー ¥3,300 (税別)

お届けについて

商品は、当社がお申し込みを受け付けてから約2週間でお届けいたします。

送料について

ご注文毎に1カ所のお届け先につき、送料を申し受けます。

■お申し込み・お問い合わせ先

〒603-8353 京都市北区平野上八丁柳町28

(株)クレオテック「ショップリベルテ通販」係

TEL. 075(463) 9740 FAX. 075 (465) 5697

新規優待店紹介

酒家 いちまるいち

ご飲食代合計金額の10%割引 (注文時にカード提示)

●すき焼き・しゃぶしゃぶ食べ放題1,780円 (肉・野菜・ごはん・玉子お替わり自由) と備長炭使用の四季の魚菜焼(季節の魚介と野菜盛り)のお店。

TEL. 075 (461) 4790

京都市北区西大路今出川東入ル北側カーメル北野B1

アクセス 白梅町交差点東へ30m北側、カーメル北野ビル地下1階

優待店からのお知らせ

はだかの大将記念館 12月中旬に閉館致します。ご利用有難うございました。

立命館ファミリーカードコーナー

「追想 末川博」を特別価格で販売

故末川博名誉総長は、戦後初代の総長・学長として「平和と民主主義」の教育理念を樹立され、本学園の復興と振興に尽力されました。「追想 末川博」は青山道夫、川島武宣、天野和夫、大隈健一郎、梅原猛、田中伊三次、桑原武夫など末川先生と親交が深かった人々の文章90篇を収録したもので、先生の遺徳を偲ぶとともに愛惜の思い出を新たにすると内容構成となっています。

今般、特別価格1,400円（送料込み）で頒布します。



『立命館百年史』第一巻資料編を刊行

『立命館百年史』第一巻通史編に続いて、このほど『立命館百年史』第一巻資料編が刊行されました。諸資料760点、諸統計を含めて全1,818頁の大部のものです。資料の収録範囲は、立命館創始の1869（明治2）年から終戦の1945（昭和20）年までの期間です。

学祖・西園寺公望と学園創立者・中川小十郎との関係資料をはじめ織田萬、小西重直、山座円次郎、末弘威麿等々学園関係者のいままで未公開であった資料も数多く収録されています。

『立命館百年史』第一巻資料編を購入ご希望の校友は、特別価格11,000円（別に送料650円）で頒布しています。葉書、又はファックスで『立命館百年史』第一巻資料編を購入希望と明記のうえ、住所、氏名（ふりがな付き）、電話番号、数量、ご卒業年度と学部を記入し、左記までお申し込みください。なお、『立命館百年史』第一巻通史編（特別価格5,000円、送料650円）も残部がございますので、購入されていない方はこの機会に併せてご一読されることをお奨めします。

お申し込み先

（株）クレオテック
「ショップリベルテ 通販」係



[立命館オリジナルグッズ]

通信販売

立命館アジア太平洋大学開学記念ロゴ入り ゴルフボール

ロングセラーを続ける飛びの定番球、DDHツアースペシャルにオリジナル記念ロゴを入れました。大小4種類432個のディンプルと均一高反発ソフトコアが風の影響の少ない、伸びのある弾道をお約束します。



■ダンロップ社製 DDHツアースペシャル
■1ダース（12個）

立命館ファミリーカード会員価格

¥3,600（税別）

一般価格

¥3,900（税別）

お申し込みのご案内

お申し込み方法

ハガキまたはファックスに、住所、氏名（フリガナ）、電話番号、立命館ファミリーカード会員番号、カード有効期限、商品番号、商品名、サイズ、数量、金額、お届け先をご記入のうえ（株）クレオテックまでお申し込みください。

お支払い方法について

立命館ファミリーカード会員の皆様は、カード払いがご利用いただけます。※お申し込み時に必ず明記してください。

一般の皆様は、商品到着後「郵便払込み」にてお支払いください。

値段は税抜き価格です。消費税は別途申し受けます。

立命館創始一三〇年・
学園創立一〇〇周年記念感謝の集い

一〇月一〇日（火）「感謝の集い」を
国立京都国際会館において開催しまし
た。内容は、知事・市長、関西地域を
中心とした大学の学長・理事長、企業
役員の方々を多数お招きした記念式典、
白川静名誉教授による記念講演会「東
洋の文化と漢字」およびレセプション
で約一、二〇〇名が参加しました。

式典挨拶で、川本八郎理事長より
「立命館は間違いなく二一世紀に向かっ
て、使命を自覚して発進いたします。
前進します」と決意が述べられ、長田
豊臣総長からは「私学の役割と責任を
自覚し、二一世紀の世界に通用する学
園づくりに競争的緊張感を持ちつつ協
力していくこと」の重要性が述べられ
ました。さらに、坂本和一APU学長
は「大学が地域に愛され、大学が地域
に役立つものとなること、大学の国
際的な信頼と評価を確立する上で、決
定的に重要」と述べ、今後も努
力を重ねていくという決意を謝辞とさ
れました。

レセプションでは、APU学生や本
学奨学生・留学生が紹介され、またシ
ドニーオリンピックに出場し銀メダル
を獲得したシンクロナイズドスイミ
ングの六名と硬式野球部山田秋親投手か
らは挨拶が行われ、大きな拍手がおく
られました。



COMMEMORATIVE FOR THE 130th & 100th ANNIVERSARY

特集

100年の確かな歩みを21世紀へ

立命館創始130年・学園創立100周年記念 2000年秋の取り組み

今年、「立命館創始130年・学園創立100周年記念」事業として、5月20日（土）に大分県別府市において
記念式典および立命館アジア太平洋大学開学祭を開催し、本学の100年の到達点を踏まえた未来への新たな展開について
社会のご理解を得る機会を持つことができました。この秋には、立命館大学が生まれ育った
京都・滋賀地域を中心として記念事業が開催されています。ここにその概要をご紹介します。

法学部創立百周年記念事業

感謝の集いに先立ち、法学部創立百
周年記念事業として、九月二日（金）
に、以学館一号ホールにおいて①法学
部百周年記念式典（約五〇〇名が参加、
九月二三日（土）に以学館二号ホール
において②国際学術シンポジウム「二
一世紀の法学・政治学の役割」（アメリ
カン大学ワシントン法科大学院学部
長／クラウディオ・グロスマン教授
（アメリカ）、フライブルグ大学学長／
ヴォルフガング・イエーガー教授（ド
イツ）、マラーヤ大学／ソチ・ラシヤガ
ン教授（マレーシア）、中国社会科学法
学研究所／王家福教授（中国）、ソウル
大学校法科大学長／金東監教授（韓国）
が報告、さらに存心館等で③ホームカ
ミングデー、④法学部百周年に関わる
貴重な資料やパネルの展示、⑤法学部
同窓会設立総会、⑥法学部百周年記念
祝賀会が開催されました。また、関連し
て「百周年記念論文」の募集、「法学部百
周年記念誌」の刊行が行われました。



創立百周年記念文学部企画

一月三日(金)～五日(日)には、以学館地下ホールにおいて①「故 和田繁二郎先生寄贈書特別展示」(本学名譽教授・和田繁二郎先生の寄贈書等の展示・近代文学、ポトナム等歌誌、パネルによる研究と作歌の足跡など)を実施しました。また一五日には末川記念会館ホールにおいて、記念講演会が行われました。

一月二日(木)には、キャンパスプラザ京都において②「文学部フォーラム」が開催され、文学部・渡辺公三教授講演「二世紀における人文学の役割と期待」、文学部・本郷真紹教授講演「大学の求める学生像と大学入試」および文学部入試説明会を行いました。



一月二日(土)には、以学館三号において③地理学科企画「社会に役立つ地理学」と題して「ここが危ない! 京都と大阪の災害(高橋学教授、「地理情報システム(GIS)の世界」(矢野桂司助教授)講演会を開催しました。

一月二六日(土)～二七日(日)には④「立命館大学所蔵貴重重書特別展」として、徳大寺文書、西園寺文書展示の特別展を開催し、一七日には、記念講演会も行なわれました。

学園創立一〇〇周年・立命館アジア太平洋大学開学記念国際学術シンポジウム

一月三日(金)・四日(土)および一日(金)・二日(土)に、「アジア太平洋学の構築に向けて」という統一テーマのもと、国際学術シンポジウムを行いました。国連事務総長特別補佐官のラギー氏をはじめ、国内外から著名な研究者、ジャーナリスト等をゲストとして、第一部「アジア太平洋におけるマネジメント教育のあり方」その独自性をどのように打ち出すか、第二部「アジア太平洋研究の新しい次元を求めて―その視角・方法・課題」のシンポジウムを立命館アジア太平洋大学において開催しました。



第一部では、欧米型のマネジメント教育に学びつつ、欧米とアジアの社会的・文化的特性を取り入れた東西融合型の独自のスタイルのあり方について、第二部では、新しい「アジア太平洋学」の視角方法、課題について旺盛な議論が行われました。

学園創立一〇〇周年学生企画

学園の百周年を記念し、学友会「百周年事業部」で①「女性が『はたらく』ということ」裁判を起こした女性たちのメッセーヅから(10・25女子学生会主催)、②「ASAWOMAN」(11・2産業社会学部自治会主催)、③「百周年記念演奏会」(11・10立命館大学交響楽団主催)、④「二世紀のリーダイを目指して」(11・18校友会も協力、⑤「二世紀・民主主義社会の再考」(工部学術本部主催)、⑥「報道写真展」(11・27・12・1BKQ、12・4・8衣笠、立命館大学新聞社主催)、⑦「PEACE」二人の『沖繩人』が見た戦争」(12・8平和の会主催)、⑧「石川文洋写真展」(11・27・12・1衣笠、12・4・8BKQ、平和の会主催)、⑨「政党討論会二〇〇〇」(12・15工部学友会主催)、⑩「陶芸部・写真部・映画部・美術部による」合同展覧会(12・18・22工部学芸総部主催)等が行われました。



「国際社会で活躍できる人材の養成を目指して」

—中・長期国際教育プログラムの到達点と課題—

国際教育・研究推進機構長 モンテ・カセム

[政策科学部教授／地域経済学]



国際教育 最前線

UBC・JAPINSHIP

はじめに、UBC・JJPはどのようなプログラムで、どのようなことを学んでいるのですか？

UBC・JJPは、一九九一年度より開始され、これまでに一〇〇〇名の学生がプログラムに参加し、本学の国際化に多大な貢献をしてくれました。本学とカナダのバンクーバーにあるブリティッシュ・コロンビア大学（UBC）が共同で開発した独自のカリキュラムに基づき、二回生を中心とした一〇〇名の学生がUBCにおいて言語教育科目（英語で学び考える力を養う）やカナダ研究（カナダ入門コースで文化、社会学・社会問題、法律と社会、経済の四分野から



選択、「コア科目（異文化間コミュニケーション）」「環太平洋研究」の二科目、UBCの正規科目を学び、キャンパスの「立命館・UBCハウス」を中心とした寮でUBC学生と共同生活を行うプログラムです。具体的には八月末から翌年四月下旬までの約八ヶ月で、UBCでは一学年の正規学期開講期間となります。UBCで取得した単位は、立命館大学で三〇単位まで認定されます。

学生達は、どのように学び、成長しているのでしょうか？

第一期生による体験記が、「一〇〇人のカナダ留学記」として出版されていますが、学生は言語の問題だけではなく、生活習慣や文化の違い等に戸惑いながらも、積極的に何事にもチャレンジしていくという姿勢で学び・生活しています。授業はいうまでもなく、寮での共同生活やサークル、ボランティアなどの課外活動など、異文化の中で揉まれ鍛えられています。そして卒業生は、それまで本学が相対的に弱かった就職先である商社、メーカー、官公庁をはじめとする国際関連分野を開拓してきました。また、一期生・二期生の中には、仕事をやめて海外の大学院へ進学したり、自分の可能性を求めて転職したりするなど、これまでにない動きが見られます。

DUPPについて

次に、DUPPについて教えてください。

DUPPは、一九九四年度より開始したプログラムで、立命館大学とアメリカ合衆国のワシントンD.C.にあるアメリカン大学が相互に単位を認定し合う（両大学が三〇単位まで単位認定を行う）ことにより、最短四年間で日米二つの学士号を取得できるプログラムです。対象となる学部は、本学の法・経済・経営・産業社会・国際関係・政策科学・文学部、アメリカン大学の国際関係・文理・経営・公共政策・コミュニケーション学部が対象となります。派遣期間は、学生の英語力と努力によるところが大きいのですが、最短で二年間です。過年度、毎年

本学では現在、多様な国際教育プログラムを開設しているが、今回は約8ヶ月間の「立命館・UBCジョイントプログラム（以下UBC・JP）」および2年間の「立命館大学・アメリカン大学学部共同学位プログラム（以下DUDP）」に焦点を当て、どのようなプログラム内容の下にどのような学生達が育ってきているのか、国際教育・研究推進機構長のモンテ・カセム教授（政策科学部）にお話を伺った。

二〇名前後を派遣しており、これまでに、約一四〇名が派遣されています。原則として入学試験段階から派遣候補者を選抜しますが、在学生である一回生からも若干名を募集することがあります。また、大学院についても交換留学制度を利用した大学院共同学位プログラムを実施しています。学生・院生は、学位を取得するためにアメリカ人の学生・院生や他の留学生と一緒に学び、生活をしています。また、現地でのインターンシップやヨーロッパ、アジア等での海外研修に参加している学生もいます。



そこで学んだ学生達は、
どういった分野に
進出しているのでしょうか？

国際機関や総合商社、外資系企業・官公庁等学んだこと、経験したことをフルに活かせる分野への進出が目立っています。特に、就職に関しては、全学の牽引的な役割を果たしているといえるでしょう。

その他の国際教育プログラムや
当面の課題は？

上記以外にも、約五週間、各二四名から三〇名を海外一一大学に派遣する「異文化理解セミナー」

「ナ」や一年間、各一名から三名を海外二三大学に派遣する「交換留学」、半年あるいは一年間、海外から三〇名程度受け入れる「One Year Program」等、学生のニーズにあわせた多様な国際教育プログラムを展開しています。また、衣笠キャンパスやびわこ・くさつキャンパスにある「交流ラウンジ」や「コミュニケーションルーム」では、日常的に留学生と日本人学生、言語担当教員等が交流できる仕組みを準備しており、学生の語学力の向上とあわせて国際感覚を磨く機会を増やしています。さらに、留学生支援のための学生ボランティアスタッフとして、留学生チューター「TISA」を設置したり、将来、国際機関への就職を希望する学生を中心とした自主研究会活動グループ「RISA」プロジェクトの一つをキャリアセンターと協力して運営しています。

最後に、今後の国際教育・
研究推進機構の課題について
お聞かせください。

国際教育・研究交流活動の広範な展開や国際リエゾン機能の向上等を目指す、「ARISE二〇〇〇」高度人材育成プログラム」という取り組みを進めています。そこでは、①マルチカルチュラル・キャンパスの一層の展開、②インターナショナルライズド・ステューデント（グローバル化・ボーダーレス化社会の中でリーダーシップを発揮できる人材）の育成、③研究・教育におけるグローバル・スタンダードへの到達を目標としています。そのための条件整備として、遠隔教育システムの開発や普遍的なデザイン概念を取り入れた先端技術開発等が必要となります。また、教員と職員の協働もこれまでは異なった次元での展開が求められるようになるでしょう。

Campus Topics

キャンパス＊トピックス

AUGUST. 2000—NOVEMBER. 2000



立命館アジア太平洋大学一〇月入学式

(2000・10・2)

ミレニアムホールにて、入学式が行われ、二〇七名の学生を受け入れた。四月入学生と合わせて四七カ国・地域出身者九〇八名(内国際学

「日本型ロースクールの具体化課題」 法曹養成・法学教育に対する大学の責任

(2000・9・30)

「二一世紀の法曹養成」連続シンポジウム第三回として開催されたもので、多数の法曹関係者・研究者等の参加を得て、法学教育のあり方や法曹像などについて議論が行われた。分科会では①二一世紀の日本型法学部教育、②法科大学院における基本的法学科目教育、③法科大学院と法律実務等が活発に話し合われた。

生四一四名 となった。

「VLSIセンター開設記念シンポジウム」

(2000・10・6)

立命館大学ローム記念館において、東京大学浅田邦博大規模集積システム設計教育研究センター

(VDEC) 長をはじめとする

超大規模集積回路(VLSI)

研究者の参加を得てシンポジウムが行われた。

システムLSIの設計教育や開発現場の意見等

活発な議論が展開された。



スポーツ能力 文化・芸術活動に

優れた者の特別選抜入学試験合格発表

(2000・10・20)

スポーツ分野一六五名(志願者二四二名、文芸分野五二名(志願者九一名)の合格者を発表。ミュージシャンの倉木麻衣さんも産業社会学部に合格。

プロ野球ドラフト会議を見

(2000・11・17)

硬式野球部の山田秋親投手(法学部四回生、二二歳、京都・北嵯峨高校出身)が福岡ダイエーホークスから、平本 学投手(産業社会学部四回生、二二歳、大阪・大阪産業大学附属高校出身)がヤクルトスワローズからドラフト指名を受けた。

「二〇〇〇年度学園祭」

(BK2000・11・11・12、衣笠11・18・19)

立命館大学出身バンド「くるり」のライブや「いちおし企画」の和太鼓ドン公演



大工哲弘ライブ、学術系サークル合同公演「平将門」、校友会キャリアアップフォーラム「二一世紀のリーダーを目指して」(川端義明氏、住野公二氏、朴慶南氏)他多彩な企画やステージ、模擬店等両キャンパスでにぎやかに学園祭が行われた。

アート・リサーチセンターの取り組み

①「片山家能装束・能面展」

(2000・8・1~3)

京都文化博物館において「財 片山家能楽保存財団第四回能装束・能面展」うすものの美しさ」が財団とアート・リサーチセンターとの共催で開催された。能装束・能面の展示のほか、デジタルアーカイブ関連のスライドショーやVTR放映等も実施。片山九郎右衛門氏、清司氏等の解説も行われた。

②「映画都市・洛西再発見撮影所跡地

30km『キネマの道』踏破の取り組み

(2000・10・1)

かつて「日本のハリウッド」と称された京都の洛西地域の映画史跡をめぐり、三〇キロメートルを踏破する取り組みを実施した。

③「ジンバブエにおける身体表現と社会・文化」

(2000・10・5)

多目的ホールにおいて、ジンバブエ・コ

ミニニティ劇団
団長グギ・ワ・
ミリ工氏の講演
と劇団によるダ
ンス・ステー
ジ・パフォーマンス
が行われた。



④「甦る日本の
ハリウッド」
無声映画、等持院に還る！」

(2000・10・28)

京都ウエストサイド物語実行委員会主
催 アート・リサーチセンター共催 (株)マ
ツダ映画社無声映画鑑賞会協力により、無
声映画「豪傑児雷也」「雷電」「番場の忠太
郎 險の母」の上映会を以学館一号ホール
において開催。弁士は澤登翠氏、楽団はカ
ラード・モントーン。

⑤アート・リサーチセンター所蔵

「浮世絵名品展」

(2000・11・6～12・18)

アート・リサーチ
センター展示室にて
開催。

⑥秋季連続講演会

「京都・民俗芸能の今
ーデジタルアーカイ
ブをめぐるー」

(2000・11・8)

講師は、前京都市
歴史資料館館長・山
路興造氏。



「情報を展示する博物館の試み」

(2000・11・6)

講師は、国立民族学博物館・栗田靖之
教授。

「サイバー・アートー製作と理論」

(2000・11・21)

講師は、コンピュータ・グラフィック・
クリエイターのマッティアス・ブッシュ氏

「美学事始めー『日本』の美学と日本の『美学』」

(2000・11・8)

講師は、大阪大学大学院文学研究科・神
林恒道教授。

国際言語文化研究所の取り組み

①「ピョン・ヨンジュ監督の映画と講演
のタビ」

(2000・11・2)

ピョン・ヨンジュ
監督を迎え、映
画「息づかい」の
上映と講演「戦争
とエンターテイン
メント」・証言・表
象をめぐって」を
実施



②連続講座「文化接合の島ー台湾」

「台湾の政治と文化」

本土意識が生み出したもの

(2000・11・10)

報告者は、目白大学人間社会学部・丸山
勝教授 コメンテーターは、京都産業大学
法学部・清河雅孝教授

「台湾の言語状況と文学」

(2000・11・17)

報告者は、静岡大学人文学部・森口恒一
教授と横浜国立大学留学生センター・垂水
千恵助教授 コメンテーターは、本学文学
部・西成彦教授

「現代中国文学研究における台湾文学研究」

(2000・11・24)

報告者は、琉球大学法文学部・星名宏修
助教授 コメンテーターは、本学法学部・
宇野木洋教授

国際平和ミュージアムの取り組み

①「日本人・オランダ人・インドネシア人
ー日本占領下のオランダ領東インドの
記憶展」

(2000・8・1)

報告者は、オランダ国立戦争資料館E・
ソームズ展示部長、立命館アジア太平洋
大学木村一信教授、岡山大学中尾知代助
教授。

②「第四回世界報道写真展2000」

(2000・9・27～10・15)

一九九五年以降
毎年開催している
年次展で、今年は
一二二カ国、三、
九八一名の写真家
から応募された四
二、二一五点から
入選した一九五
点が展示された。ま
た、ロビーでは併
せて「東チモール報道写真展」も行われた。



③特別展「戦争と芸能」

(2000・10・26～11・16)

中野記念ホー
ルにおいて、「戦
争が芸能に落
とした影」を副題
として、戦時中
の芸能（音楽、
漫才、落語、浪
曲、映画、演劇
能、文楽、歌舞
伎、宝塚少女歌
劇等）が戦争に
よって歪められ
た状態を約五〇〇点の資料・パネル等で描
き出している。



④「戦争と芸能 記念講演会」

(2000・10・29)

末川記念会館ホールにおいて、「戦時下
の芸能」というテーマで、本学産業社会学
部・木津川計教授による基調講演と吉本文
芸館・竹本浩三館長、木津川計教授、本学
国際平和ミュージアム・安齋育郎館長によ
る鼎談が行われた。

学生の スポーツ&イベント

ホッケー部 (女子)

■関西学生リーグ 3位

男子陸上競技部

■第84回日本選手権

800m1位 笹野浩志 (営3)

女子陸上競技部

■第10回関西学生対校女子駅伝 準優勝

■第84回日本選手権

10000m8位 加納 由理 (済4)



映画部、写真部、陶芸部、美術研究部

■表現系四団体合同企画展

12/18 (月)~22 (金) 以学館多目的ホール

APUスポーツ・ガイド



<主な試合結果>



女子陸上部

■九州学生陸上選手権

5000m-1位: ウビ・タデッセ (アジア太平洋学部1)

1500m-1位: 佐藤由布子 (アジア太平洋学部1)

800m-2位: モハメッド・ウォッセン (アジア太平洋マネジメント学部1)



イベント・ガイド

問い合わせ先: 学生センター

075-465-8141



クラシックバレエ同好会

■学内発表会 (白鳥の湖)

12/14 (木)・15 (金) 以学館1号ホール



新演劇研究会(劇団月光斜)

■2000年冬公演

12/15 (金)・16 (土) 学生会館小ホール



写真研究会

■冬季展

12/16 (土)~20 (水) 10:00~21:00
以学館多目的ホール1・2

※最終日は18:00まで



応援団

■第41回チアリングフェスティバル

12/20 (水) 17:00開演 京都会館第2ホール



劇団立命芸術劇場

■第65回公演

12/20 (水)~22 (金) 学生会館小ホール



新演劇研究会(劇団月光斜)チームBKC

■2000年度冬公演

12/21 (木)~23 (土) 時間未定 ユニオン
ホール (BKC)



メンネルコール

■第54回定期演奏会

12/25 (月) 18:00開場、18:30開演
京都コンサートホール小ホール

S P O R T S & E V E N T

ス ポ ー ツ ・ ガ イ ド

問い合わせ先：スポーツ強化センター
075-465-7863

<主な試合結果>



硬式野球部

■関西学生リーグ 準優勝

[ベストナイン] 一塁手・藤原 通(産3)、
遊撃手・紀之定 正行(産4)、外野手・市
場 靖人(産3)、大前 辰哉(産4)



ゴルフ部

■第46回信夫杯争奪全日本大学対抗選手権
(男子) 3位



サッカー部

■関西学生リーグ 優勝(初)

[ベストイレブン] GK・不老伸行(産3)、
DF・伊藤宏樹(済4)、MF：西原拓己(済
4)・FW：井上悠輔(済4)

[最優秀選手賞・ベストキャプテン賞] 西原
拓己(済4)

[得点王] 井上悠輔(済4)



サッカー部(女子)

■関西学生リーグ 6位



柔道部

■全日本学生柔道体重別選手権

(女子) 63kg級：2位 野村康代(文2)



男子ソフトボール部

■関西学生リーグ 4位



軟式(準硬式)野球部

■関西学生リーグ 3位



馬術部

■第38回関西学生馬術選手権大会
2位 田中伸幸(産4)

■第36回関西学生馬術女子選手権大会
4位 衣袋亜矢子(法4)



女子バスケットボール部

■関西学生リーグ 5位



バドミントン部

■関西学生リーグ男子 準優勝

■関西学生リーグ女子 3位



バレー部

■関西学生リーグ 3位



ハンドボール部(女子)

■関西学生リーグ 6位



フェンシング部

■第50回関西学生フェンシング選手権大会
男子エペ1位 実重 努(理4)、男子サー
ブル団体：優勝、男子サーブル1位：杉本
直也(済4)

女子エペ団体：準優勝、女子エペ2位：成
田絢子(文2)、女子サーブル団体：優勝、
女子フルーレ団体：準優勝



ホッケー部(男子)

■関西学生リーグ 準優勝



編集室から

＊先月、衣笠キャンパスの中央グラウンドが樹木と芝生の中央ひろばとして整備されたのを見て、大変な様変わりには驚きと感激を同時に覚えた。また、モダンな恒心館も見せてもらった。一方、先週バイクでBKCを訪ねた。ローム記念館の前を歩いてアークロスウイングへ行くと、隣でセミナーハウスの建設中であった。立命館大学の発展と校友諸兄姉のますますのご活躍を祈りつつ21世紀を迎えたい。

(寛)

＊貴重な書画を守るため長年修復に携わってこられた大先輩藤井さん。その技と仕事は、一千年もの長きにわたって受け継がれてきた日本の宝と日本人の心を次世代に伝える。一人の人間として誠実に被疑者に接し、日々邁進する若き警察官竹谷さん。今、21世紀に誕生する新しい命を宿し、決意を新たにする。BKCの展開とAPUの創設、生まれ変わった京都・衣笠キャンパスの変貌。「自由と清新」を受け継ぎ、新たなミレニアムにグローバルに挑戦し続ける立命館の強い決意に身震いしつつ。(新世紀も「りつめい」をご最良に!)

(あ)

＊立命館大学大阪オフィスに勤務して早2年。この間、本学園のサテライト・オフィスとして、本学の様々な取組や改革について発信してきた。また、大学の持つ知的資源を社会のお役に立てたいということで、99年度より市民講座「立命館大阪オフィス講座」を開講。当会報や校友会ホームページでPRしており、大阪を中心に関西の校友の方々の受講を頂いている。次年度は、大阪在住の先輩の皆様のお力をお借りした市民講座を立ち上げるべく現在準備中である。乞う、ご期待!!

(保)

今号から会報誌上での卒業年表示に西暦を使用しています(下2桁で表記)。21世紀を迎え、立命館学園および当校友会が世界に開かれた存在となったことに伴う変更です。しばらくは慣れない向きもあろうかと存じますが、ご理解ください。

りつめい No.203／年4回発行

発行所／立命館大学校友会
編集人／尾崎 敬則
発行人／河原 四郎
〒603-8577 京都市北区等持院北町
Tel. 075 (465) 8120・8124
Fax. 075 (465) 8125
http://www.ritsumeai.ac.jp/

I N F O R M A T I O N

校友消息(判明分)

叙勲 2000年度秋分

□ 勲三等瑞宝章

高野 修氏('53法) 元京都簡裁判事

□ 勲四等旭日小綬章

高橋宗治郎氏('50経済) 金融
中田 淳氏('53経済) 地方自治
上林 力氏('55法) 検察官
安井 茂氏('55法) 地方自治

□ 勲四等瑞宝章

黒宮哲之氏('48専工) 地方自治
東山照雄氏('50専法経) 地方自治
高塚泰次郎氏('54文) 教育
南 健夫氏('54法) 弁護士

□ 勲五等瑞宝章

降旗頭英氏('50経済) 中小企業振興

栢野治夫氏('51専法経) 地方自治
小笹次夫氏('51経済) 教育
岡澤新吾氏('52文) 教育
中川文也氏('52理工) 教育
三谷信夫氏('53理工) 地方自治

□ 勲六等瑞宝章

山田政五郎氏('47専工) 警察

褒章 2000年度秋分

□ 黄綬褒章

富家幹夫氏('55経済) 織物
海原 旦氏('57経済) 公認会計士
安井 孜氏('59理工) 建築工事
塩根完爾氏('61理工) 造船関連

表彰

□ 大橋 忍氏('59文)
建設大臣表彰

各種国家試験合格者(判明分・敬称略)

◎司法試験

平井宏俊('84経営) 大倉 淳('97経済)
高橋良裕('89法) 甲斐靖裕('97経営)
湯坐聖史('94法) 藤田晃士('98経済)
國本依伸('96法) 堀田 稔('98法)
安達里美('97法) 白山千文('99経営)
濱田裕嗣('97法) 武内貴之('99経営)
佐藤真奈美('98法) 山本和弘('99経済)
安井敦子('98法) 稲垣誠二('00法)
今春 博('99院法) 平井美香('00経営)
小原路絵('99法) 高橋慶親(法4)
小嶋 敦('00法) 野場友純(経営4)

◎公認会計士試験

岩永憲秀('96経済)

杉田美香('96法)

小村昌孝(院国関M2)
齋藤正利(院理工M2)
高島史揚(院理工M2)
福澤光祐(院法M2)
田付徳雄(院理工M1)
降旗友宏(院政策M1)
春日和文(理工4)
小林淳哉(経営4)
坂井田崇(理工4)
鈴木貴広(経済4)
谿花正由輝(理工4)

◎外務省専門職試験

甲藤岳史('00国関)
寺本衣里('00院国関)
井上広勝(院国関M2)
柳瀬千代(院国関M2)

◎国家公務員Ⅰ種試験

西川英樹('98文)
社藤 学('99経済)
筆原慎一郎('00院法)
神田英孝('00経済)



校友会へご惠贈下さいました本の中から
紹介させていただいております。

◆ 川村匡由氏('69文) 著
『これで充分 介護保険早わかり』
実業之日本社 ＊ 1 4 0 0 円
『得する年金・介護保険の基礎常識』
実業之日本社 ＊ 1 5 0 0 円

◆ 藤田友治氏('73院文修) 著
『魏志倭人伝の解明
—西暦幹二「国民の歴史」を批判する』
論創社 ＊ 2 0 0 0 円

◆ 村上哲大氏('62法) 著
『仕事と経営の極意
—パラダイム発想法』
学文社 ＊ 2 5 0 0 円

◆ 秋園忠教元教授・石原浩澄助教授
('87文)・井田俊隆教授・芳田真沙子
教授(吉田昌子・'58文) 他訳
『英国院本 紅茶の時間に 作家
と詩人の愛した町や村』
文理閣 ＊ 3 5 0 0 円

◆ 鈴木 元氏('69経済) 著
『五十年代前半』
かもがわ出版 ＊ 1 4 2 9 円

価格が本体価格です。

就任

□ 岩室敏和氏('71産社)
10月29日大阪府阪南市長選挙 初当選

訃報

□ 赤田日崇氏('54文)
本能寺貫首。9月21日ご逝去。75歳。
□ 谷口長三氏('58理工)
自動車部OB会会長。
10月18日ご逝去。65歳。
□ 堀田牧太郎氏
APUアジア太平洋学部教授。
前・立命館大学国際関係学部教授。
11月9日ご逝去。53歳。

お知らせ

校友会住所等変更通知専用 フリーダイヤルを開設いたしました

お名前・ご住所・勤務先・電話番号等変更の際にご利用下さい。

Tel. 0120-252094 Fax. 0120-252095

なお、郵便のご利用や、インターネットの校友会ホームページからデータをご送信いただく形で登録内容変更もできます(本誌p.14参照)。最新の情報をお知らせ下さいますようご協力をお願いいたします。

各種証明書発行依頼先について

卒業証明書・成績証明書などの発行依頼は各学部事務室までお願いいたします。
二部(現・夜間主コース)卒業生の方につきましても同様に各学部事務室にて承っております。

[証明書発行依頼先]

■法学部・文学部・産業社会学部・国際関係学部・政策科学部・衣笠キャンパス
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
Tel. 075(465)1111 (代)
■経済学部・経営学部・理工学部・びわこ・くさつキャンパス
〒525-8577 滋賀県草津市市野路東1-1-1
Tel. 077(566)1111 (代)

【校友会報配達状況についてのお尋ねとお願い】

本誌「りつめい」は、送料経費節減のため、地域によって郵便もしくはメール宅配便のどちらかを利用して皆様のお宅へお届けしてまいりました。しかし、宅配便利用地域において、誤配や、配達されないといった事故がわずかながら起きているようです。また、ご転居後に転送がきかないという不便もあります。
検証のため、今号はすべて郵便にて発送いたしました。大変恐れ入りますが、宛先表記は旧住所であっても郵便局に転居届を出されていたことにより新住所に転送・配達されたという方などがいらっしゃるいましたら、校友会フリーダイヤル(0120-252094)までご連絡下さい。
何卒よろしくお願い申し上げます。